



Q GXの取組みは



&

並木利彦(文責)

A 湯沢町も積極的に取り組む

療育医療

質問 「療育」とは「治療教育」。発達に遅れがある子供たちのための治療と教育をサポートすること。魚沼圏内で小規模の療育センターの施設を設置することはできないか。

答弁 新たに施設をつくりスタッフを確保して運営していくことは、今の段階では厳しい。

質問 治療教育大切だが、その子の両親が現実を客観的に受け入れる事の重要性をどう思われるか。

答弁 相談場所は、湯沢町総合子育て支援センターの療育発達支援事業の乳幼児検診で発達課題のある子を見つけ、親子教室への参加を促したり、精神科医師の未熟児クラス巡回で、課題がある子の、発達状況の確認や親子教室への参加を促している。

エンディングプラン・サポート事業

質問 湯沢町はリゾートマンションに居住している独居老人の方が多数おられる。個人情報として把握できない現状。エンディングプランサポート事業があれば、独居老人の方と湯沢町にとってメリットがあると思われるが。

答弁 調査検討する。

湯沢町づくり機構補助金

質問 湯沢町観光町づくり機構の各プロジェクトをどのように予算に組み込むのか。

答弁 各プロジェクトの次年度に必要な予算を集約し、理事会で決定する。それを受け、企画観光課内、一般社団法人湯沢町観光町づくり機構運営支援補助金要項に基

づいて査定し、予算案に反映する。

質問 機構の補助金申請は、当年の、収入・経費・イベント費用、特別費用を現状予測した申請額にならないか。

答弁 当年度の収入支出を参考にして試算・積算されるものと考えている。

DXとGX

質問 GXは、再生可能エネルギーによる社会改革を目指す取組み。自然と協調を目指す湯沢町のGXの取組み

は。

答弁 GXを湯沢町でも積極的に取り組む。

AI普及でデータセンター需要拡大

質問 AIの需要が急速拡大で、データセンターを新設、活用を推進しているが湯沢町はどう対応するのか。データセンターの熱源を利用しノリタ跡地の企業誘致も考えられるが。

答弁 雇用の場所や新たな展開があれば町として取り組む。

■AIの普及によるデータセンター需要拡大の理由と事例、課題を解説

